

栄学区区政協力委員会  
9月度定例委員会 議事次第

2024年 9月12日

栄学区集会所

14:00～

司会進行 水野

- ・開会
- ・委員長あいさつ
- ・資料の確認
- ・議事
  - 報告事項 ①配布物について
  - ②9月度中区区政協力委員協議会定例会について <資料No.1-1、1-2>
  - ③大規模災害時における地域と事業所との支援協力について  
<資料No.2-1、2-2、2-3、2-4>
  - ③その他
- 協議事項 ①熱田神宮正月券について <資料No.3>
- ②その他

・閉会

10月の定例会は10/27日～

次回学連協定例会

10月10日（木）14:00～ 栄学区集会所

※定例会終了後 栄ミナミを住みよくなる会 総会、サテライト地元連絡協議会 総会があります。関係者は出席してください。

## 中区区政協力委員協議会 9月定例会

日 時 令和6年8月21日 (水) 午前10時00分  
場 所 中区役所5階第一会議室

## 【報告等】

	事 項	担 当 ※	配付資料	配付先等
報告等1	ご利用ください！行政相談	総務省	チラシ	各委員
報告等2	おんたけ休暇村健康増進リフレッシュプランについて	休暇村 管理公社	チラシ	各委員
報告等3	令和6年度中生涯学習センター後期講座のご案内について	中生涯 学習センター	チラシ	各委員
報告等4	第40回なか・ぶんかまつりについて	中生涯 学習センター	チラシ	各委員
報告等5	広報誌「税務なか」の配布依頼について 回答期限 9月13日 (金) 提出先 名古屋中税務署	中税務署	依頼文	学区1セット

※ 総務省：総務省中部管区行政評価局、休暇村管理公社：公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社

## 【議 題】

No.	議 題	資 料 No.	担 当	配付資料	配付先等
1	犯罪発生概要・交通事故発生状況について	1	中警察	—	—
2	火災・救急統計について	2	中消防	—	—
3	令和6年度中区敬老関係行事について	3	福祉課	チラシ	各委員
4	中区ハートフルコンサート2024の開催について	4	福祉課	チラシ	各組
5	中区子ども会連合運動会の開催について 回答期限 10月2日 (水) 提出先 民生子ども課	5	民生 子ども課	依頼文	学区1セット

No.	議 題	資料 No.	担 当	配付資料	配付先等
6	中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ2024の 開催について	6	地域力 推進課	チラシ	各組
				ポスター	学区1枚
7	第56回名古屋市区政協力委員大会について 大会開催日時 11月13日（水） 場所 名古屋市公会堂	7	地域力 推進課	—	—
8	2025年愛知県交通安全県民大会における「民間街 頭活動協力者(顕彰候補)」の推薦について 推薦期限 10月2日（水） 提出先 地域力推進課	8	地域力 推進課	推薦書	該当学区
9	特殊詐欺被害防止講習会の開催について	9	地域力 推進課	—	—
10	交通安全・生活安全ニュースについて	10	地域力 推進課	チラシ	各委員
				ポスター	学区2枚
11	違反広告物をなくす運動について	11	地域力 推進課	チラシ	各委員
12	令和6年度「中区美術展」の開催について	12	地域力 推進課	ポスター	学区1枚
13	令和6年度「中区秋のいけばな展」の開催について	13	地域力 推進課	ポスター	学区1枚
14	RUN伴の開催について (認知症にやさしいまち大須プロジェクト事業)	14	中区いきいき 支援センター	—	—
15	地域の活動報告について	15	新栄学区	—	—

## 【その他】

- ・ 資源・ごみの持ち去り対策について ..... 資料No.16
- ・ 南海トラフ地震—その時の備え—について ..... 資料No.17
- ・ 「地域の防災リーダー対象防災講演会」開催案内 ..... <各委員> 資料No.18
- ・ 名古屋市公式LINE 大規模災害時用メニュー訓練実施！について  
..... <各委員> 資料No.19

# 栄に広がれ 共助の心



覚書を交わした白滝委員長(右から2人目)と井戸社長(同3人目)ら＝中消防署で

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、栄学区と中部日本ビルディング(中区)の災害時の支援協力に関する覚書の締結式が27日、中消防署であった。栄学区と事業所の締結は、同社が100社目。

(四方さつき)

## 学区と中部日本ビルディング

### 災害時の支援協力で覚書

式には栄学区防災安心まちづくり委員会の白滝正人委員長、中部日本ビルディングの井戸義郎社長、市消防局の半田修広局長、中消防署の新村満弘署長らが出席した。

覚書を交わした事業所は、地震や台風などの災害

が起きた際、資機材や重機、飲料、非常食などを学区に提供する。社屋や駐車場を一時避難所として開放したり、従業員が住民の避難を手伝ったりするなど、それぞれの事業所の特性に合った方法で地域の活動に協力する。

中部日本ビルディングは災害時、自動体外式除細動器(AED)を貸し出す。締結に合わせ災害救助用毛布や車いす、担架などの防災備蓄品も学区へ贈った。覚書の締結は2001年、市消防局の呼びかけで取り組みが始まった。現在、市内267学区で2051社が、地元学区と覚書を締結している。栄学区の100社は市内で最も多い。

白滝さんが学区の役員として防災に力を入れ始めた09年、栄学区の締結数は3社にとどまっていた。「地域として共助の力を高めた」と考えた白滝さんは、他のメンバーとともに学区内の事業所を回って協力を呼びかけてきた。

締結式で白滝さんは「大規模災害では消防や警察、自衛隊がすぐに駆けつけてくれるわけではない。目の前の命を自分たちでいかに助けられるかが重要」と強調した。井戸社長は「大災害はいつやってくるかわからない。地域と協力し、力になれるよう努めていく」と応じた。